

トツパンの 愛児絵本

五大特長

1. 就学前の幼児を、前期（1〜3才）後期（4〜6才）の二期に分けて、それぞれに適切な編集をしてある。
2. 新感覚の動きのある絵、前期はバックを単純化、後期は構成的な要素を折込む。
3. 大きくよみやすいネーム、前期は歌う調子、後期は読む調子。
4. 内容は、どうぶつ、のりもの、知識ものなどの基本的なもの。
5. 美しい印刷と堅牢な造本。

監修 山下俊郎 先生

前期用各50円発売中

のりもの *じどうしゃ* *きしや* *でんしゃ* *たのしいのりもの* *どうぶつ* *えほん* *どうぶつ* *どうぶつ* *のあかちゃん* *どうぶつ* *えん* *たのしいのりもの*
後期用各80円発売中
かずのえほん *のりものえほん* *あいうえお* *せかいのどうぶつ* 以下続刊



東京日本橋茅場町一の二〇〇 トツパン

幼年期の意味

ジョン・フィスク著 小川正通訳
新書版八四頁定価八〇円 一六円
進化論の立場から幼年期の重要性を鋭く衝く名著

日本の幼児教育

その問題点をめぐりて

長田 新・山下俊郎・莊司雅子著
新書版一八四頁 定価一三〇円 一六円
日本の幼児教育の問題点をえぐりだした鼎談

東京都千代田区神田小川町三ノ五 株式会社
振替東京一九六四〇電話29(七六一五)

フレール館